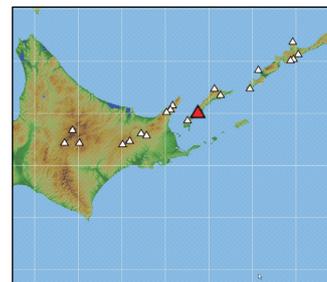


109. 羅臼山^{らうすさん} Raususan(国後島)

北緯 43° 58′ 44″ 東経 145° 43′ 57″ 標高 882m (独自に計測)



右のピークが羅臼山、左のピークが小羅臼山 南東側海上から 2007年8月13日 古川竜太撮影

概要

安山岩、石英安山岩 (SiO₂ 量は 52.3~67.8 wt.%) の成層火山である。その内部には中央火口丘として溶岩ドームが形成されている。現在、噴気や温泉活動が活発である (Gorshkov, 1970)。別名 Mendeleev (メンデレエフ)、羅臼岳。

地勢図

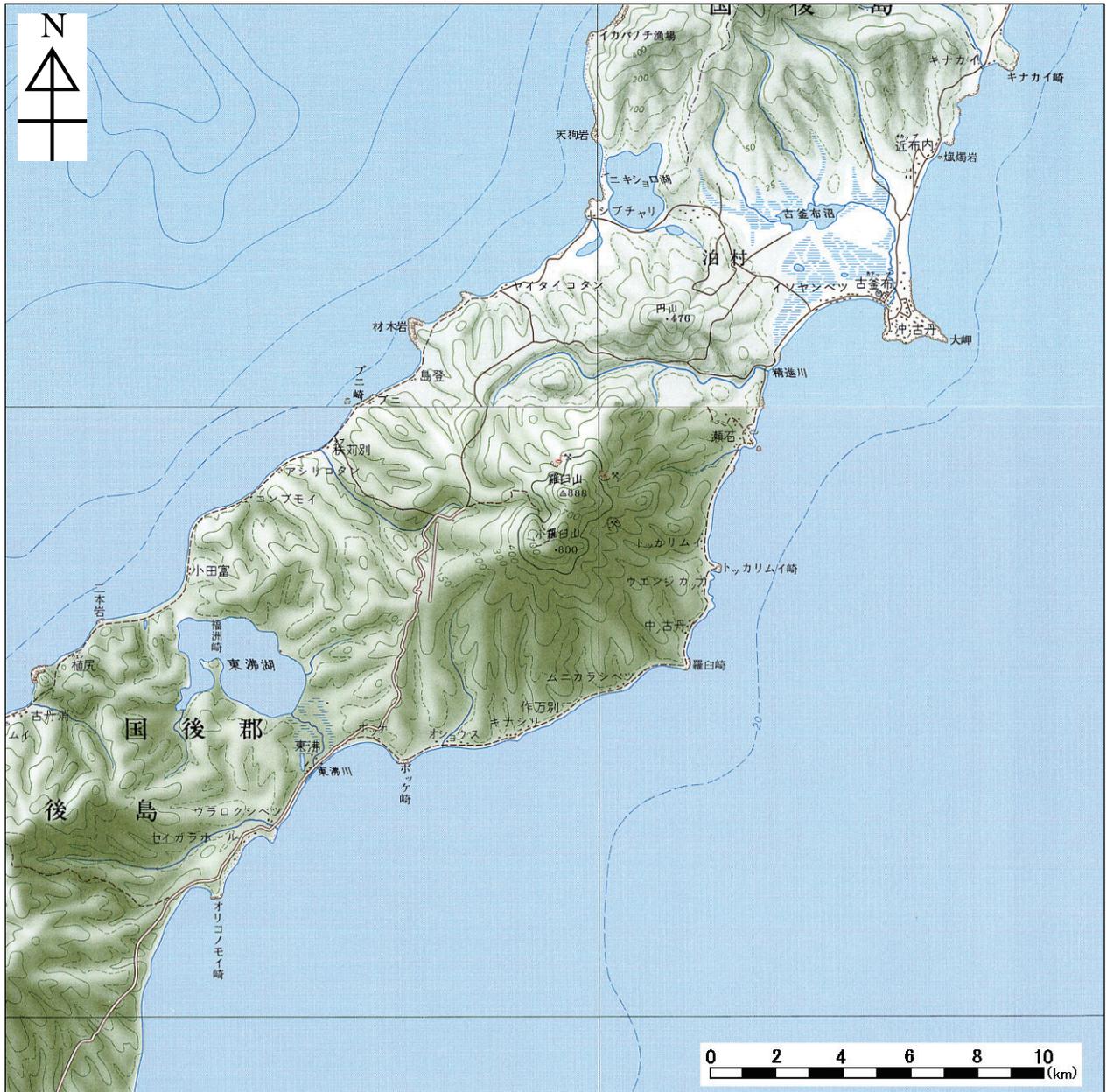


図 109-1 羅臼山の地勢

国土地理院発行の 20 万分の 1 地勢図(標津、知床岬)

噴火活動史

・ 過去 1 万年間の噴火活動

山頂火口形成および中央火口丘形成時の活動に対応される火砕流堆積物中の炭化木片の放射性炭素同位体年代は 2550yBP 値を示している (Abdurakhmanov et al., 2004)。

・ 有史以降の火山活動 (▲は噴火年を示す)

年代	現象	活動経過・被害状況等
▲1880(明治 13)年	噴火	
▲1900(明治 33)年	噴火?	

近年の火山活動

ルルイ岳 地震活動を参照。

関連する主な気象官署

機関・部署名	所在地	電話番号
気象庁地震火山部火山課	東京都千代田区大手町 1-3-4	03-3212-8341
札幌火山監視・情報センター	(札幌管区気象台)札幌市中央区北 2 条西 18 丁目 2	011-611-2421
釧路地方気象台	釧路市幸町 10 丁目 3 番地 釧路地方合同庁舎 9 階	0154-31-5145

引用文献

Abdurakhmanov, A. I., Razzhigaeva, N.G., Rybin, A. V., (2004) Modern volcanic and seismic activity on Mendeleev volcano. Bulletin of Sakhalin Museum X, 277-283 (in Russian).,

第四紀火山カタログ委員会 (1999) 日本の第四紀火山カタログ (CD-ROM 及び付図), 日本火山学会.

Gorshkov, G. S. (1970) Volcanism and the upper mantle: investigations in the Kurile Island Arc. Plenum Press New York-London, 385.